

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局地方道・環境課
担当課長名：森 永 教 夫

事業名	一般道 <small>ふちがみひの</small> 淵上日野線 <small>しんたきやま</small> （新滝山街道）	事業区分	地方道	事業主体	東京都
起終点	自：八王子市戸吹町 至：八王子市丹木町	延長	2.6 km		

事業概要

新滝山街道は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）のあきる野IC（仮）と国道16号を經由して八王子市の中心市街地とを連絡するとともに、八王子市とあきる野市との連携を強化する延長約7kmの地域高規格道路である。

本区間は、新滝山街道で唯一の未事業化区間であり、平成16年4月末供用予定の延長1.6km区間に続く延長2.6kmの4車線バイパスの整備を図るものである。

事業の目的、必要性

新滝山街道は、圏央道の利用交通を八王子市街地等へ円滑に導入するとともに、今後あきる野IC開通に伴う交通量の増加に対応するために必要な路線である。また、現在、既に当該路線の周辺で発生している交通渋滞等の緩和を図るものである。

全体事業費	150 億円		計画交通量	30,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C	3.2	総費用	121 億円	総便益	385 億円	基準年	平成15年
			（事業費：118億円）		（走行時間短縮便益：350億円）			
			（維持管理費：3億円）		（走行費用減少便益：32億円）			
					（交通事故減少便益：3億円）			

事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等に当該路線により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）
- ・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業である）
- ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路の位置付けあり）
- ・生活環境の改善・保全（その他、環境や景観上の効果が期待される）
- ・他のプロジェクトとの関係（関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり）

他1項目に該当（定量的評価項目含む）

関係する地方公共団体等の意見

新滝山街道は、圏央道へのアクセス道路であり、また周辺道路の交通渋滞の緩和等に重要な役割を果たすことから、八王子市議会議長から内閣総理大臣あてに事業化の要望(平成9年12月12日)、八王子市長から国土交通大臣あてに早期整備要望(平成16年2月4日)が出されている。

事業概要図

